



子どもたちは、晴れの日には泥んこ遊びやシャボン玉、絵の具遊びなど夏の遊びを満喫し、雨の日は、空き箱、広告を使った廃材製作やホールで体操などをして遊んでいます。各クラスにはダンゴムシ、カブトムシの幼虫、ザリガニなど生き物がたくさんいます。最初は見ていることが多かった子ども達も少しずつ触れるようになってきたり、えさやりをしたりしています。生き物から命の大切さを学んでいます。6月23日から水遊びも始まりました。睡眠と食事をしっかりにとって夏の遊びを十分楽しんでほしいと思います。



7月の行事予定

★園庭開放は毎週火曜・木曜 10 時～11 時半です。

2～4 8・10・11	保育参観	詳細は6月の園だよりをご覧ください
2日(水) ～4日(金)	笹飾り付け(降園時) 4日のみ(登園時)	各保育室にてお家の方と七夕の笹飾りをしてください。 (降園時は14：30～15：45です。長時間の方は長時間にて)
4日(金) ～10日(木)	資源回収 (2回目)	アルミ缶のみを正門前で集めます。ご協力をお願いします。
7日(月)	七夕会	今年は、クラスごとに楽しみをします。
9日(水)	誕生会	7月生まれの友達をお祝いします。
10日(木)	交通指導・街頭指導	危険な遊びや遊んではいけない場所について学びます。
18日(金)	避難訓練	午睡中に地震が発生した場合の避難の方法を学びます。
25日(金)	就学時視力検査(5歳児)	5歳児は9時までに登園してください。
28日 29日 31日	南中生ボランティア	南中生がボランティアで来てくれて一緒に遊びます。
31日(木)	夏祭り会食	今年は夏祭り前に夏祭り会食をします。お楽しみに！！

《8月の主な行事》

- ・1日(金) 夏祭り 中高生ボランティア来園
- ・4日(月) 誕生会
- ・5日(火) 交通指導日
- ・6日(水)～15日(金)夏期保育
- ・20日(水) 避難訓練
- ・22日(金) 就学時知能検査 (5歳児)
- ・29日(金) 就学時聴力検査(5歳児) プール終わり 4・5歳児午睡終わり

◆◆◆忘れて、水分補給◆◆◆

下痢のときの食事

子どもは下痢を伴う病気になりやすいもの。下痢をすると水分を控えたいくなりますが、子どもは脱水症状を起こしやすいので、適切な水分補給が大切です。

症状がひどい間は

子ども用イオン飲料・麦茶・白湯・水・野菜スープなど
最初はスプーンでゆっくり飲みます。

下痢の回数が減ってきたら

おかゆ・煮込みうどん・すりおろしリンゴ・ダイコンの煮物など温かく消化のよい物を、少量ずつ始めて。

熱があるときの食事

以前は、食欲が回復するまでは、食事を控えることが一般的でしたが、体力を消耗するため、現在では可能な範囲で、食事を口にすることが勧められています。

・まずは子ども用イオン飲料や、ビタミンが豊富なダイコンやニンジン水を水で煮込んだ上澄みスープなどを。

・食事は、エネルギーやタンパク質が高く、消化のよい物を。粥、煮込みうどん、ポタージュ、ヨーグルト、煮込みうどんなどもよい。

無理に食事をとらせたりせず、可能な範囲で進めます。

嘔吐があるときの水分と食事

1 嘔吐が続くときは、与えず様子を見て水分を与えてもすぐにはいってしまうときは、1～2時間ほど水分を与えず様子を見て。

2 落ち着いたら、スプーン1杯ずつから乳幼児用のイオン飲料をスプーン1杯与え、20～30分ほどしたら、次の1杯を。

3 回復してきたら
味噌汁の上澄みや、味の薄い野菜スープ、すりおろしたリンゴなどから始めて。

大丈夫な物
消化のよい物

控えたい物
糖分や食物繊維の多い物

7月の保育目標



- 2歳児 ・保育者に手伝ってもらいながら簡単な身の回りのことをしようとする。
・夏ならではのさまざまな遊びを保育者や友達と楽しむ。
- 3歳児 ・夏の生活の仕方を知り、自分でできる身の回りのことをしようとする。
・保育者や友達と一緒に夏ならではの遊びを楽しむ。
- 4歳児 ・保育者や友達に思いを伝えながら一緒に遊ぶことを楽しむ。
・小動物や植物の世話を通して命の大切さに気付いたり、生長を楽しみにしたりする。
- 5歳児 ・友達と思いや考えを出し合いながら遊びを進めていく楽しさを味わう。
・夏ならではの遊びに友達と一緒に取り組み、試したり、工夫したりしながら遊ぶことを楽しむ。
・飼育物や栽培物の生長や変化に興味をもち、調べたり、触れたり、世話をしたりする。



☆アルミ缶回収のご協力をお願いします☆

2回目の資源回収が下記のとおり行います。アルミ缶のみ回収を行います。
この収益金は園児達のプレゼントや交通安全お楽しみ会などに用います。
下記の通りに行いますので、皆様のご理解・ご協力をいただきたいと思います。
よろしくお願い致します。

回収日…7月4日(金)～10日(木) 10日(木)は16時業者回収となっています。

回収場所…正門の前 テント下

回収物…アルミ缶(飲料用)

きれいに洗って乾かした後に缶をつぶしてください。

皆様のご協力をお願いします。

☆夏期保育申し込みについて☆

8月6日(水)～15日(金)の夏期保育の申し込みは「はい チーズ！」にて実施しています。
希望の有無を、6/30(月)までに申し込んでください。給食発注等の準備がありますので、
保育を希望される方は忘れずにお申し込みください。

保護者のみなさんがお仕事の都合で保育を必要とする場合のみお申し込みをお願いします。

お仕事が終わり次第、お迎えをお願いいたします。

～夏期保育中の持ち物～

《3・4・5歳児持ち物》

- ・手提げかばん(通園カバンは不要です)・水筒・カラー帽子・シューズ・手ふきタオル
- ・ビーチバック・午睡用布団・着替え袋 ※午睡用布団以外は毎日持ち帰ります。

《2歳児持ち物》 通常通り

《保育室》(人数によっては変更することがあります)

2歳児・・・さくらんぼ組 3歳児・・・ことり組 4歳児・・・うさぎ組 5歳児・・・ぞう組

《担当保育士》 毎日変わります。

《お願い》

- ・緊急連絡先は勤務先など必ずつながる連絡先にしてください。
- ・迎えの時間・迎えの方等の変更があればお知らせください。(TEL 0566-41-0999)



プール遊び前に絵本を通して子どもたちに、大切な体について話をしました。

「いや！」と言うことを教えましょう

自分の体は、自分で守ろう

子どもが成長していくうえで、自分の体に興味をもち、男女の違いに関心を示すのは、自然なことです。興味を示すその時期に、自分の体を大切にすることを教えていきましょう。特に「プライベートゾーン(水着で隠れる場所)」については、人に見せたり、触らせたりしてはいけないことを子どもには教えます。また、さまざまな友達や大人とのかかわりの中で「いやなこと」をされたときに、はっきりと「いや」「やめて」と言うこと、日頃から自分の言葉で意思表示してよいことを教えていきましょう。思いもよらぬ出来事から身を守ることに繋がります。



いやなことがあったときは……

もしもいやなことや怖いことがあったとき、だれかに「2人だけの秘密」と言われたとしても、「私(信頼できる大人)」には話すことを約束しておきましょう。「私はいつでも“あなたの味方”だから、あなたが怖い、いやだと思ったことは、必ず話してね」と繰り返し伝えましょう。

地球温暖化の影響を受けてか
日本の夏の気温は毎年上昇傾向
にあります。しっかりした熱中症対
策が園でも家庭でも必要ですね。

ポイントをまもって、熱中症を防ごう

み

水やお茶などを
こまめに飲もう

お遊び始める前、外出する前
に水分補給。のどが渇く前に
飲ませてあげましょう。

め

目安は顔色

顔色がよくないときはもちろん、赤い
ときも要注意。「暑いから赤いのは当
たり前」と思わず、顔が赤いときはす
ぐに休ませましょう。

む

無理は禁物！

体調が悪いときは熱中症を起
こしやすくなります。眠そうな
また、食欲がなさそうな様子
の日は、外あそびをほどほどに。

も

木綿のゆったりした服が
お勧め

夏は、汗をよく吸う綿の素材で、えり
もとやえり口がゆったりした通気性の
よい衣類がよいでしょう。帽子は、首
筋まで覆う、つばの広いものを選んで。

低年齢ほど危険な 熱中症

本格的な夏がやってきました！ 強い日
ざしの中で心配になるのが熱中症です。
0、1、2歳のころは、体温調節の機能が
未熟で、代謝も活発なので、多くの水分
が必要です。こまめな水分補給を！

こんな様子が見られたら…急ぎ病院へ！

- ☐ 唇や皮膚がかさかさしている
- ☐ おしっこが普段よりも少ない
- ☐ 暑いのに汗をかいていない
- ☐ 顔色が赤い、または青白い
- ☐ だっこをしようと体がぼてっている
- ☐ 一日中、うとうとしている
- ☐ ぐったりしている

こんなときは救急車を！

- 急激に 39℃以上の熱が出た
- けいれんしている
- 意識がない
- 水をまったく飲まない

「熱中症？」そのときに

子どもたちが大好きな夏ですが、熱中症には注意を。子どもに
異変があったら、すぐに手当てをして重症化を防ぎましょう。

①



涼しい場所に移動する

風通しのよい日陰や涼しい室内に連れて
運ばせ、服のボタンやベルトを外す。

②



体を冷やす

ぬらしたタオルで体をふき、うちわや扇風
機の風を当てて体にこもった熱を逃がす。

③



水分を少しずつ与える

麦茶や子ども用イオン飲料などをひと
口ずつ与える。一度に飲ませず、様子
を見ながら。

- ☐ 冷やしたタオル
 - ☐ タオルに包んだ保冷剤
 - ☐ ボリ袋に入れた氷水
- などを挟んで冷やすと効果的



注意！！

39℃以上の発熱があり、
ぐったりして意識がない
ときは救急車を呼びます